

科目名		配線図 I			
担当教員		富樫 久夫	実務授業の有無	○	
対象学科	電気電子工学科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	電気設備を施工するときに無くてはならないのが配線図。電気工事の中枢ともいべき配線図をゼロから学び、関係者と図面を見ながら作業の打ち合わせをしたり、電気図面を1人で描けるというレベルになるまでスキルを磨きます。				
学習目標 (到達目標)	住宅および事務所・工場の電気配線図を手書きで書くことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	PDFファイルおよび紙の図面用紙を用意します				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	配線図とは 配線図の役割と内容 図記号		テキストとノート、PDF資料にて 電気工事の法律と通信・建設にかかわる法律を、要点を抑えて学ぶ		
2	配線図の描き方 建築物の構造		テキストとノートにて 電気工作物の定義を中心に技術基準との関連を理解 (P601～620)		
3	配線図の描き方 描き方の順序と要点		テキストとノートにて 電気工事の免状・資格と業務の範囲と、資格取得後の注意事項 (P625～632)		
4	配線図の描き方 接続図		テキストとノートにて 電気工事業者の定義・登録について・業務・標識・帳簿など (P633～639)		
5	配線図の描き方 分電盤・器具・スイッチの配置		テキストとノート、PDF資料にて 法の適用となる電気用品の種類とマークについて具体例を見ながら理解する (P621～624)		
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
取組み姿勢	提出課題	期末試験		PDF教材はPCでの閲覧、ノートはiPadまたはWindowsパソコンのOneNoteになります。さらに紙での提出課題があります。	
0 %	50 %	50 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	電気・電子技術者として設計の現場に5年係わっていた 第一種電気工事士				